

Course number		U-LAS30 10012 LJ12 U-LAS30 10012 LJ11 U-LAS30 10012 LJ10						
Course title (and course title in English)	情報基礎 [薬学部] Basic Informatics (Faculty of Pharmaceutical Sciences)				Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor,HIRASAWA AKIRA Graduate School of Pharmaceutical Sciences Associate Professor,OGAWA HARUO		
Group	Informatics			Field(Classification)		(Foundations)		
Language of instruction	Japanese			Old group	Group B		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)			Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Mon.4		Target year	Mainly 1st year students		Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]								
コンピュータ初心者を対象に、必要となる基礎知識とマナー、そして将来の研究活動に必要な情報科学ならびに情報処理の基礎の講義と、自分ひとりでコンピュータを扱えるようになるための演習を行う。								
[Course objectives]								
世の中にあふれる情報を扱うための基礎的な理論を習得する。またコンピュータを利用する際の倫理的な問題、社会における情報との関係について理解する。								
[Course schedule and contents)]								
基本的に以下の内容に従って講義を進める。ただし講義の進みぐあいなどにより、順序や同一テーマの回数を変えることがある。授業回数はフィードバックを含め全15回とする。 第1回導入講義、情報とは 第2回情報システムとパソコン 第3回情報の表現(1)(レポート、文章の書き方、メール) 第4回情報の表現(2)(記号・符号化) 第5回情報の表現(3)(情報量) 第6回アプリケーションについて 第7回データとデータベースについて 第8回計算・プログラミング言語について 第9回アルゴリズムについて 第10回計算の理論/コンピュータの仕組み(1) 第11回コンピュータの仕組み(2)/社会とのつながり 第12回情報の伝達と通信(1)(インターネットの仕組み) 第13回情報の伝達と通信(2)(暗号化) 第14回情報セキュリティと知的財産 期末試験 第15回フィードバック								
[Course requirements]								
薬学部 1 回生向けクラス指定科目です。コンピュータを用いた演習は情報基礎演習で行います。								
[Evaluation methods and policy]								
基本的な情報処理に関する知識が習得できているかどうかを定期試験により判断する。ただし、授業中に行う小テストを成績に考慮する場合がある。								
Continue to 情報基礎 [薬学部] (2)								

情報基礎 [薬学部] (2)

[Textbooks]

詳細は初回の授業で説明する

[References, etc.]

(References, etc.)

山口 和紀 (編集) 『情報 (第2版) 』 (東京大学出版会) ISBN:978-4130624572

[Study outside of class (preparation and review)]

コンピュータを積極的に利用すること。

[Other information (office hours, etc.)]

コンピュータを用いた演習は情報基礎演習 [薬学部] で講義する。併せて履修することが望まれる。

情報環境機構が提供する情報セキュリティe-Learningを必ず受講し、修了テストを受けた上で、同テストのフィードバックを確認しておくこと。授業内では受講のための時間は設けないので授業時間外に受講しておくこと。同e-Learningは学生も含めた本学の全構成員に対して毎年受講が求められているものである。2回生以上で過去の年度に受講した場合でも今年度まだ受講していないのであれば必ず受講すること。